

幌別東小学校

第1回学校適正配置に関する地区別検討委員会議事録

日時 令和3年10月7日（木）18時00分～20時00分

会場 幌別東小学校体育館

○事務局 時間となりましたので、これより幌別東小学校区「第1回学校適正配置に関する地区別検討委員会」を開催いたします。本来は会長が地区別検討委員会の議事進行を行うところではありますが、会長が選出されるまでの間は、事務局で進行を行わせていただきます。

議事に入る前に、本日お集まりの皆さんをご紹介しますと思います。事務局から順番にお名前をご紹介しますと思います。その場で簡単にご挨拶をいただければと思います。

それではご着席の順で紹介させていただきます（委員を順次紹介）。

（委員紹介後）それではさっそくお配りした会議次第に基づき議事を進めさせていただきますが、議事に入る前に、この委員会の位置付けや趣旨について若干説明させていただきます。

教育委員会では、新たに「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」を策定し、今後35年間における市内の小中学校の配置のあり方をお示ししました（グランドデザインの説明については省略）。

幌別東学校については、令和3年度から7年度までを期間とする第1期中に、幌別小学校と統合することを想定しましたが、本地区別検討委員会は、指針における統合の想定を踏まえて、地域として、幌別東小学校の今後のあり方をどう考えるのか、学校統合に関しどう考えるのか、その是非について協議するため、保護者や地域住民有志の皆様により設置されるものです。

本日に至るまでの間は、我々教育委員会が保護者の皆様、地域の皆様とお話し

をしながら調整を行ってきましたが、教育委員会としては、本委員会の協議内容を踏まえ、学校設置者として、幌別東小学校と幌別小学校の統合の是非に関し最終的な判断を行いたいと考えております。そのためにも、本日お集まりの皆様にはぜひ積極的な議論をお願いしたいと思います。

なお、皆様のお手元に本地区別検討委員会の設置要綱をお配りしておりますので後ほど目を通していただければと思います。また、委員会の事務局は教育委員会で務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、会議次第にしたがって進めさせていただきます。会議次第2は「教育長あいさつ」です。保護者や地域住民有志の皆様による協議を始めるにあたり、教育長よりご挨拶させていただきます。教育長お願いいたします。

○教育長 お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。また、コロナ禍という大変厳しい状況の中、学校・家庭・地域が一丸となり、子ども達の学びが継続できるようお力添えをいただいていることにお礼を申し上げます。さて、登別市教育委員会では、本年8月、「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」を策定し、今後35年間における学校配置のあり方をお示ししました。幌別東小学校については、令和3年度から7年度までの間に、近隣校である幌別小学校との統合を想定しましたが、これはあくまで児童数の推計に基づき、学校規模の目安などを参考に考えた想定に過ぎません。どのような形で鉄南地区に暮らす子どもたちの教育環境を維持していくかは、教育委員会が一方的に決するものではなく、保護者の皆様、地域の皆様のご意見を伺いながら、対話を通じて決めていくべきものと考えております。本日は、教育委員会が示した統合の想定を踏まえ、地域として、幌別東小学校の統合に関しどう考えるのか、その是非について協議するための場を設けさせていただきました。今後は、保護者や地域住民有志の皆様による委員会として、教育委員会が示した統合の想定を踏まえながらも、自由に議論いただければと思います。教育委員会といたしましては、皆様の議論を事務局としてサポートしつつ、委員会としての意見がまとめられた際には、その意見を受け止め、学校設置者として責任を持って幌別東小学校の統合に関し判断させていただきたいと考えております。それで

は本日以降、長丁場の委員会となるかもしれませんが、積極的な議論をよろしく
お願いいたします。

○事務局 教育長はここで退席させていただきます。

(教育長退席)

○事務局 次に会議次第3は「会長及び副会長の選出」についてです。お手元にお配りし
ている設置要綱にもありますとおり、委員会には会長1人と副会長2人を置くこ
ととしておりますので、会長及び副会長の選出を行いたいと思います。委員の皆
様から推薦等がありますでしょうか？

○委員 事務局に何か案はありませんでしょうか？

○事務局 事務局案といたしましては、会長は幌別鉄南地区連合町内会の山田正幸さん、
副会長は幌別東小学校 PTA 会長の速水慎一郎さんと幌別鉄南地区連合町内会の
竹中さんにお引き受けいただければと思いますがいかがでしょうか？

(異議なしの声あり)

○事務局 異議なしの声がありましたので、会長は山田さん、副会長は速水さんと竹中さ
んに決定いたしました。三人を代表して、会長の山田さんより一言ご挨拶をいた
だきたいと思います。山田会長、会長席に移動いただきお願いいたします。

○山田会長 ただいま会長に選ばれた山田でございます。よろしくお願いいたします。本日
は幌別東小学校のPTA役員の皆様、町内会の皆様にご出席いただき、第1回学
校適正配置に関する委員会ということで、その趣旨はただいま事務局から説明ご
ざいました。今日一日で終わる議論ではありませんので、今日を含めて何回か委
員会を開催しなければならないのかなと思います。幌別東学校が幌別小学校と統

合となれば、子どもたちの置かれる環境が大きく変わることになりますので、まずは保護者の皆様の意見を尊重しなければならないと思います。また、学校が無くなった時にこの鉄南地区がどう変わるのかということを考えれば、町内会で日頃より活躍されている代表の方々のご意見を聞かなければならない。様々な立場からの意見があろうかと思いますが、皆さんの意見を聞きながらなんとかまとめて行きたいと思っております。余談ですが、私の生まれた地域の小学校は2学級で教室が二つしかない。1年生から3年生までが一クラス、4年生から6年生までが一クラス。中学校は1学級で1年生から3年生が一クラス、そのような環境で学んできました。在学している間はなんとも感じておりませんでした。高校、大学、社会に出て行くとそのハンデがいかに大きいかと痛感し、今でもそのようなことを感じながら生活しております。そういったことを頭に置きつつ、まずは子どもたちにとって望ましい教育環境ですとか、環境変化の影響はどの程度かということを考えながら、学校が無くなることの地域への影響などに関しても意見を交わしながら進めて行きたいと思っておりますので、どうかご協力をよろしく願いいたします。

○事務局 それでは会長、副会長が決定いたしましたので、今後の議事進行につきましては、山田会長にお願いしたいと思います。山田会長、よろしくお願いいたします。

○山田会長 それでは会議次第に基づき進めさせていただきます。会議次第4は「地区別検討委員会の進め方について」です。この委員会では、今後の幌別東小学校のあり方、教育委員会がグランドデザインの中で示した幌別小学校との統合の是非に関し協議することになりますが、学校が地域で果たす役割は多岐にわたり、統合の議論についても進め方に工夫が必要と感じております。そこで、今後の本委員会における議論のあり方、進め方に関し事務局より説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 事務局より委員会の進め方について説明いたしました。要約しますと、まずは

子どもたちの教育環境を確保する観点から統合自体の必要性を議論し、その後、仮に統合するとしても様々な課題が想像されますので、それら課題について、教育上の課題、まちづくりの課題に分けて検証を行いながら、本委員会として統合の是非に関し議論をまとめていくということかと思えます。この進め方について、委員の皆さんから質問、ご意見などはありませんでしょうか？

(委員からの発言なし)

○山田会長 承認をいただきましたので、それでは議事を先に進めて参ります。会議次第5は「協議事項」となります。さきほどの進め方にもあったとおり、まずは「教育環境の観点から見た学校統合の必要性について」協議を行います。事務局の方で協議資料を用意しているとのことですので、幌別東小学校の現状と今後の見通しについて説明を受けたいと思います。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 事務局より、幌別東学校の現状と今後の見通し、統合の必要性について説明がありました。まずはその内容について、委員の皆さんから質問や確認事項はありませんでしょうか？

(委員からの発言なし)

○山田会長 それでは次に進みますが、今回、教育委員会で、幌別東小学校の「良さ」や「課題」、学校統合に対する考えなどに関し、保護者の皆さんにアンケートを行ったということで、その結果がまとまっているようですので、協議の参考として事務局から説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 事務局より保護者の皆さんを対象に行ったアンケートの結果について説明がありました。まずはその内容について、委員の皆さんから質問や確認事項はありませんでしょうか？

(委員からの発言なし)

○山田会長 それでは私から一つ質問よろしいでしょうか。このアンケート結果からみると、まさに現状を考えた答えになっていると思います。学年に1クラスという状況の中で、統合を想定した答えになっていないのかなど。あくまで現状を前提とした回答になっていると思うのですが、その辺はどうでしょうか？

○事務局 アンケートの内容自体は、いま会長からご指摘があったように、現状についてどう考えているのかというような内容となっております。

○山田会長 私はどちらかというと、将来的なことを想定した時にそのような状況でいいんでしょうかというようなアンケートをすることも必要ではないかと思います。

○事務局 このアンケート自体は、地区別検討委員会での議論を始めるにあたり議論の参考にさせていただければと実施したものに過ぎません。いま会長がおっしゃったように、委員会として将来を想定した内容のアンケートを再度実施するということであれば、事務局としてはその内容に沿って準備させていただきたいと思っておりますので、実施するかどうかも含めて議論いただければと思います。

○委員 おそらく保護者の方の多くは小規模化した学校を経験していないと思いますので、保護者の方の小学校時代を想起させつつの設問であれば、もう少し結果は変わってきたのかなという気がします。また、保護者だけではなく、子どもたちを対象にしたアンケートというのも一案かなと思います。

○委員 私もそう思います。子どもたちための学校ですので、子どもたちを中心に考え

る必要があるし、子どもたちの意見を聞くのも必要ではないでしょうか。子どもたちも日々少しずつ価値観が形成されていってるわけで、子どもたちから話を聞くのも有効ではないかと思います。校長先生もオブザーバーとして参加してらっしゃるので、そのあたりに関し見解を聞きたいと思います。

○猪子校長 子どもたちのための学校ですので、子どもたちの考えを尊重すべきというのはおっしゃるとおりかなと思います。ただ、子どもたちは少人数の中で過ごして来ており、比較対象がなくて判断材料が無い部分はあるかと思います。このため、仮に子どもたちに聞くのであれば、もっと友達がいた方がよいと思うか、いろんな先生に教えて欲しいかなど、子どもたちにも理解しやすい、かみ砕いた設問にする必要があると思います。

○委 員 令和4年度から7年度の間統合を想定しているということですが、その間のいつ統合するかによって、保護者も子どもたちも準備の仕方が違ってくると思います。そこが明確になっていないのでどのように備えていいのかわからない状況なんです。市としてはどのように考えているのでしょうか？

○事務局 教育委員会としては、遅くとも令和7年4月の統合を想定しております。統合するには準備期間が必要となりますので、令和7年4月統合の場合、令和6年は子どもたちや保護者同士の交流事業をやるような年になってくる。令和5年度は細かな条件を決め、受け入れ先の幌別小学校の環境整備を行う年になろうと思います。そういったことを考えると、令和7年4月に統合するとすれば令和4年度中には統合自体を決定しなければならないと思っております。このように考えると、統合する4月までに2年間必要になるものと思います。例えば、1年前倒して令和6年4月に統合となれば、令和5年度に交流事業、令和4年度に条件整備、令和3年度中には統合自体を決定していなければならない。教育委員会としては早ければ令和6年4月、遅くとも令和7年4月の統合を想定しておりますが、いずれにしても、統合にあたっては保護者の皆様、地域の皆様のご理解を得ながら進めることが重要となりますので、地区別検討委員会の場で議論を重ねてい

ただければと思います。

○委員 教育委員会に質問なんですが、はじめに学校運営協議会で説明があり、その後、その他の方も含めて幌別東小学校の体育館で意見交換会が行われたわけですが、そういった説明は一部の保護者にしかされていない状況にあると思います。そうした状況の中で、ああいったアンケートを行うのはどうなのかと思いました。また、保護者アンケートといっても、学年によっては統合の年に自分の子どもが学校に在籍しているのかわかりませんので責任を持って回答できない保護者もいると思います。そのことについて、教育委員会としてはどのように考えているのでしょうか？

○事務局 教育委員会としては、学校運営協議会から始まり、7月に実施した意見交換会、保護者向けのニュースレターの発行など、保護者の皆さんと情報共有できるよう努力してきたところですが、ご指摘のように、グランドデザイン公表後に保護者の皆さんに直接説明する機会は設けられていませんので、例えば土曜授業の後に保護者の皆さんにお集まりいただいて、グランドデザインについてご説明するか、そういったことも検討していたところでした。委員のお話も参考にしながら検討させていただければと思います。

○委員 グランドデザインを拝見しまして、将来的には人口増も見込めないし、収入も減少していくということで、学校施設を今までどおり維持していくことは厳しいと思います。そういった意味では、基本的には統合して教育の内容を密にしていってイメージを持っていたんですけれども、統合後の通学方法など細かい決定がありましたら、ホームページ等で早めに開示していただければと思います。

○事務局 ご指摘のように、統合後の環境がわからなければなかなかイメージしづらい部分はあろうと思います。これに関しては議論の進め方でもお話ししましたが、仮に統合の方向性で議論を行っていった場合には、通学方法や踏切への対応など、統合にあたっての課題検証を行うことを想定しておりました。その際には、

事務局である教育委員会から現時点の考え方をお示しし、具体的な議論を行うことができればと考えております。

○委員 これから幌別東小学校に入学する子どもたちの保護者への説明はどうなっているのでしょうか。実際に来年度に小学校に入学する子どもで、幌別東小学校区に住んでいながら、幌別小学校への入学を検討しているケースを聞いています。そういったことを考えても、未就学児童の保護者にこうした説明を行うべきだと思いますし、説明を聞きたい保護者はたくさんいると思います。そういった説明無しに、突然来年から幌別東小学校は無くなりますよとなれば、子どもも保護者も戸惑ってしまうと思います。せめて来年入学する保護者を集めて、そういった説明をすべきではないでしょうか。説明を聞いて、学校を選べるのであれば、子どものために他の学校への入学を検討する保護者もいるかもしれません。単に私たち委員だけが説明を聞くということでは意味が無いのではないのでしょうか。せめて来年度に入学する子どもやその翌年度に入学する子どもの保護者には説明しないと対応が遅いということになってしまうのではないのでしょうか。また、この委員会にも、現役の在校生の保護者というよりは、今後入学する予定の子どもたちの保護者にこそ参加してもらわなければならないのではと思います。現役の在校生の保護者の場合、学年や兄弟の有無によっては、責任を持った議論ができないのではないかと思います。

○事務局 まず一点目、未就学児童の保護者にもしっかりと説明を行うべきとのご指摘がありますが、市教委としては統合することを想定してはおりますが、現時点で統合を決定している訳ではありません。未決定の状況で、来年度入学する保護者の方などにそうした説明をするのは誤解を生む可能性もありますので、難しいところがあると思います。ただ、幌別東小学校の現状や今後の見通し、現在行われている検討事項の内容などに関しては、今後入学を控えた子どもたちの保護者の皆様にも知っていただく必要がありますので、教育委員会としては、これまでも意見交換会や広報などを通じて情報提供に努めてきたところであります。しかし、ご指摘のように、なかなか保護者の皆さんに伝わっていないところもあろうかと

思いますので、例えば未就学児童の保護者を対象に広く説明会を開催するとか、マスコミ報道を通じて広く知っていただくというようなことを考えていかなければならないと思っております。もう一点、委員会メンバーに今後小学校に子どもを入学させる保護者がいないのではないかというご指摘をいただきました。今回、委員会を設置するにあたって検討した結果、我々も同様に、今後小学校入学を控えた児童の保護者の皆さんにもご参加いただくことが必要と考え、幌別東保育所に相談し、同保育所の保護者の方で、且つこの地域に住んでいる方お二人にご参加いただいたところです。また、現役在校生の保護者は責任を持った議論ができないのではとの指摘ではありますが、たしかに、現在小学校に在籍している子どもたちはいずれ卒業しますので、学年や兄弟構成によっては主体的に議論に参加するのは難しい部分があるのご意見はあてはまる部分もあろうかと思えます。ただ、現在の状況をご存じの皆様ですので、現状も含めて是非ご意見をいただきたいということで、PTAの皆さんに相談しご参加いただいたところでありますので、その点をご理解いただければと思います。

○委員 保育所だけではなく、市内の幼稚園に声をかけるというようなことをすれば少し違ってくるのかなと思えますが、いかがでしょうか？

○事務局 個人情報の問題がありますので、私立幼稚園に広くご協力いただけるかは難しい部分もあろうかと思えますが、未就学児童の保護者にご参加いただく方法などに関し、会長、副会長とも相談させていただきたいと思えます。

○委員 学校統合はなかなか難しいところがあるかと思えます。単位町内会を例にとれば、人数が少なくなっても町内会同志が統合するの難しいところがあり、小さくなったとしても小さいなりに頑張っていける。学校統合についても、統合ありきではなく、統合した場合としない場合のシミュレーションを示すべきではないかと思えます。統合しない場合は複数学年で一学級になる可能性があるとか、そういった話をするべきではないかと思えますが。

○事務局 仮に学校統合しなかった場合には、令和7年度に2年生と3年生で複式学級が生じる可能性があり、以後、複式学級が継続する状況が続きます。これについては、資料を用いながらさきほど説明させていただいた通りです。

○委員 さきほど説明していただいた児童数の推計は、あくまで現在の状況を基礎としたシミュレーションかと思いますが、今後の家の立地などによっては、人口が増加する可能性もある。私自身諦めていたところもありましたが、これまでの話を聞いていると、学校を残すために頑張ってもいいのではないかという考えが強くなってきました。

○山田会長 今後の家の立地を期待して議論するのはなかなか難しいところがあるのかなと思います。

○委員 話が戻ってしまうかもしれませんが、登別小学校は残ることが決まっているということで、登別地区で言えば、中学校は幌別中学校と統合する想定ですが、小学校は今後も存続していくことが想定されている。どういう経緯で、そのような想定になったのか説明していただければと思うのですが。

○事務局 登別小学校については、今後の児童数の減少幅が幌別東小学校に比べても小さいということがあります。幌別東小学校の場合、さきほど説明したとおり、令和7年度に複式学級が生じる可能性がありますが、登別小学校については、令和37年度までの期間中に複式学級が生じる可能性は低いものと見込まれることが存続を想定した理由のひとつです。加えて、小学校の場合、児童数の推計に加え、地域にひとつという考え方も加味して検討いたしました。登別小学校は登別地区唯一の小学校であるのに対し、幌別東小学校については、鉄南地区の貴重な小学校ではありますが、同じ幌別地区にある幌別小学校と距離的に近いということもあり、幌別東小学校については統合、登別小学校については存続を想定したところであります。

○委 員 登別小学校については、市内のどの地域からでも入学できるようにするという話もありましたが、これは既に決まったことなのでしょうか。また、どのような理由でそのような位置付けにすることを決定したのか説明していただければと思います。

○事 務 局 小規模特認校の話かと思いますが、小規模特認校にすることを検討するという段階でありまして、現時点で決定したものではありません。また、小規模特認校検討の経緯についてであります。登別地区は観光都市登別の玄関口であるとともに、登別温泉に近接しているということもあり、近年、国際色が非常に豊かになりつつあり、そういった地域性を生かして特色ある教育を行うことが可能ではないかと考え、特認校の検討を行うこととしたところです。

○委 員 統合はあくまで想定であって決定ではないので、幌別東小学校の今後のあり方を議論して欲しいとのことですが、市長からは現任期中に幌別東小学校を統合するといった発言もあり、保護者としては不信感を持っているところです。そうした中で、事務局の説明においても、児童数が年々減少していくので統合が必要との話があった。こういったことを考えると、あらためて統合自体の是非を話し合うというよりは、統合後に子どもたちが安全に登校するためにはどうすればいいのか、また、この地区から小学校が無くなった時に鉄南地区の良さをどのように残していくのかというようなことを話し合うことが必要なのではないかと思いますが。

○事 務 局 教育委員会としては、教育行政の立場から、今後の児童数の推移を踏まえて統合が必要という話をさせていただきましたが、学校は子どもたちを育む場として、まちづくりの中心として地域に根差した存在ですので、統合に関しても、結論ありきではなく、保護者の皆さん、地域の皆さんの理解の下に進めなければならないものと考えております。そうした意味でも、教育委員会の想定を示した上で、地区別検討委員会の場で、地域として議論いただきたいと考えているところです。

○委員 議論して欲しいと言いますが、教育委員会からは、統合しなければ複式学級が生じるという説明しかありません。議論して欲しいというのであれば、他の方策を採った場合にはこうなるというような説明も必要なのではないでしょうか。保護者への説明にしても、意見交換会を開き、ニュースレターは出した、アンケートをしたではなく、保護者全員に伝わるように努めていただきたいと思います。

○委員 統合するしないだけでなく、校区を変えたらこうなるのか、新しい学校を作ったらこうなるというような話をすべきではないでしょうか。例えば、幌別小学校校区の一部を幌別東小学校区に編入した場合にはどうなるのか。そういったことも視野に議論すべきではないかと思います。

○事務局 さきほど説明したように、幌別東小学校については、現在でもかなり小規模化が進んできています。また、幌別小学校についても、一部の学年で1クラスになるなど、必ずしも大規模校というわけではありません。このため、幌別小学校区の一部を幌別東小学校区に編入したとしても、隣接した2校がともに小規模校となってしまう可能性が強いものと考えております。また、該当地域の児童への影響を考えても、かなり明確な成果がなければ、校区の一部を他校区に編入するのは難しいものと考え、2校の統合を想定したところであります。

○委員 さきほどからの話を聞いていると、7月の意見交換会と同じ議論が繰り返されている印象があります。私としては、山間部ならともかく、市街地の中で小さな学校というのは可哀そうな部分があるのかなと思っております。米作りを指導していても、当初は300人程度の参加がありましたが、最近は100人程度という状況です。こうしたことを考えても、幌別小学校と統合し、ある程度の人数の中で揉まれながら育っていく環境を作るべきだと思います。今回の議論を聞いていると、様々な話が輻輳して、議論が深まらない印象があります。子どもの数を増やすといっても一朝一夕にできることではありませんので、例えば次回以降は、統合の方向性を持って、具体的なテーマを設定して協議したらどうかと思います。

○事務局 さきほど学校の新設という話がありましたが、幌別地区、富岸地区の他の小学校の状況を考えると、すぐに3校以上の学校を統合して、学校を新設する状況にはないと考えております。学校の新設を検討するにあたっては、学校施設の状況も加味しなければならないのですが、幌別小学校については、市内でも最も新しい施設のひとつですので、こうしたことを総合的に勘案した結果、まずは幌別東小学校と幌別小学校の統合を想定したところです。また、統合の方向性を持ってテーマを設定して議論すべきではないかとの意見をいただきましたが、地区別検討委員会として統合の方向性で議論していくということになれば、統合にあたっての課題をテーマに具体的な議論を行っていただければと思っております。通学時間や踏切への対応など、統合するとしても様々な課題がありますので、そうしたことをテーマにすることで発展的な議論になるのかなと思っております。

○山田会長 コロナ禍においては、会議は長くても2時間程度かなと思います。そろそろ2時間に達しようとしておりますので、本日はそろそろ終了にしたいと思っております。本日は、子どもたちの教育環境という観点から、幌別東小学校の今後のあり方、統合の是非に関し議論してきましたが、仮に統合するとしても、解決しなければならない課題は色々あるかなと思います。次回の委員会では、幌別東小学校の今後のあり方、統合の是非に関して引き続き議論を行い、仮に地区別検討委員会として統合の方向性で議論していくということになれば、その後は、それら課題について具体的な話をしていくことになろうと思っております。それでは事務局から次回の会議日程などについて説明願います。

○事務局 次回についてであります。10月29日金曜日、時間は本日同様18時からと考えております。具体的な内容に関しては、後日、事務局より連絡させていただきます。

○山田会長 事務局より次回日程について説明がありましたが、これに関し委員の皆さんから何かありませんでしょうか？

○委員 本日の会議では音声的反響して非常に聞き取りにくいところがありましたので、会場については再考願いたいと思います。

○事務局 委員よりご指摘いただきましたので、次回は他の会場で調整したいと思います。候補としては鉄南ふれあいセンターを考えておりますが、これについても、後日、事務局より連絡させていただきます。

○山田会長 それではこれで「幌別東小学校 第1回学校適正配置に関する地区別検討委員会」を終了します。皆さん、長時間にわたりありがとうございました。